

平成28年2月三木市教育委員会（臨時会）会議録

◇ 日 時

- 1 開 会 平成28年2月10日（水）午後4時00分
- 2 閉 会 平成28年2月10日（水）午後5時30分

◇ 場 所 三木市役所 5階 大会議室

◇ 会 議

- 1 開 会
- 2 会議録署名委員の指名
- 3 議 案
議案第21号 三木市公立学校長及び教頭の人事異動内申について
- 4 協議事項
協議事項21 （仮称）みき歴史資料館の基本計画について
- 5 報告事項
- 6 閉 会

◇ 会議に出席した者の職氏名

| | | | |
|------|----|------------|---------|
| 教育委員 | 1番 | 委 員 長 | 里 見 俊 實 |
| | 2番 | 委員長職務代行者 | 水 島 慶 子 |
| | 3番 | 委 員 | 井 口 徹 |
| | 4番 | 委 員 | 石 井 ひろ美 |
| | 5番 | 委員（教育長） | 松 本 明 紀 |
| 事務局 | | 教育企画部長 | 西 本 則 彦 |
| | | こども未来部長 | 永 尾 勝 彦 |
| | | 教育政策課長 | 大 西 真 一 |
| | | 教育環境整備課長 | 貞 松 保 夫 |
| | | 文化スポーツ振興課長 | 堀 内 基 代 |
| | | 図書館長 | 伊 藤 真 紀 |
| | | 学校教育課長 | 野 口 博 史 |
| | | 教育センター所長 | 大 東 豊 |
| | | 就学前教育・保育課長 | 岩 崎 国 彦 |
| | | 子育て支援課長 | 井 上 典 子 |

教育政策課主査 五百蔵 一也
教育政策課主事 八代醜 典之

傍聴者 0人

◇ 会議内容

委員長が議事の進行について、議案第21号は人事案件であるため、三木市教育委員会会議規則第5条第1項ただし書きの規定により、非公開で審議することについて委員に諮り、同意された。

1 開 会

委員長が、平成28年2月三木市教育委員会臨時会の開会を宣言した。

2 会議録署名委員の指名

委員長が、本日の会議の会議録署名委員に、井口委員と石井委員を指名した。

3 協議事項

【協議事項21】（仮称）みき歴史資料館の基本計画について

○堀内文化スポーツ振興課長が次のように説明した。

資料館のコンセプトは、歴史資料の散逸を防ぎ、調査研究の成果を発表する「時空（とき）の拠点」、三木の歴史・文化をアピールし、リピーターを生む「情報発信の拠点」、そして、歴史・美術の杜みゅーじあむのインフォメーション施設として、市内外の人が訪れる「まちおこしの拠点」として整備する。基本方針は、歴史・美術の杜みゅーじあむのインフォメーション施設として、城下町エリアにある登録文化財やみちの駅と連携したまちの賑わいづくりを担うものである。開館は平成28年5月とし、年間入館者数2万人を目指す。次に事業計画について説明する。「時空（とき）の拠点」

として、歴史資料等の滅失や散逸を防ぎ、調査研究等の成果を公表することにより、市民の文化遺産として、市の歴史を未来に継承する。原始時代から現代までの歴史資料等の常設展示に加え、三木合戦の史跡や発掘調査等の成果を企画展として展示するほか、金物資料館や登録文化財と連携した共催テーマの企画展を実施する。「まちおこしの拠点」としては、歴史・美術の杜みゅーじあむのインフォメーション施設として、史跡や登録文化財と連携した商店街の振興を図り、また、商工観光課と役割分担をしながら、市街地を巡っていただける仕組みを作る。「情報発信の拠点」としては、時空（とき）の拠点や、まちおこしの拠点の考え方を踏まえ、三木の歴史や文化を外に向けて発信していく。資料館の活動に、市民やボランティアの方に積極的に関わっていただけるような仕組みを作るとともに、市内外の方々が気軽に訪れ、資料館を通じて交流し、情報を発信していける場として整備する。また、他の文化施設や博物館と連携した共催展を開催し、三木の歴史や文化をアピールするとともに、関連する講演会や歴史講座、染形紙や金物を使った工作などのワークショップを常時開催することで、リピーターを作りたい。施設計画については、旧図書館を活用し、1階を常設展示、2階を企画展示室とする。また、2階には市史編さん室を設ける。3階には体験・講座室を置くとともに、市民活動コーナーを設ける。1階の玄関を入ったところに、観光案内を兼ねた休憩室を設け、ここに映像コーナーも設置したいと考えている。常設展示は、三木のあけぼのとして、銅鐸の指定文化財等の展示からスタートし、次に古墳時代として、愛宕山古墳や志染の石室に関するものを展示する。古代・中世の三木においては、吉川法光寺泥塔や、細川荘に関するものを展示する。常設展示のメインは、三木城の時代で、三木合戦群図の複製、三木合戦の模型を置き、また、映像コーナーを設置して、三木合戦に関する放映を行いたいと考えている。近世の三木では、宝蔵文書、三木金物、旧玉置家住宅、染形紙に関するものを展示する。近現代の三木では、三木飛行場跡、旧小河家別邸に関するものを展示する。2階には、既存の展示コーナーを企画展示室として活用するとともに、市史編さん室及び埋蔵文化財の整理作業室を設ける。3階は、現在の視聴覚室を、体験・講座室として活用する。また、市民活動コーナーにおいては、市民クラブ等のまちづくりの企画に関する会議等に利用していただきたいと考えている。収蔵庫は、埋蔵文化財

の遺物を収蔵する。また、美術館の収蔵品を入れるスペースも確保したいと考えている。管理運営について、資料館に資料館協議会を置き、運営に関する協議を行う。開館時間は9時から17時で、月曜日、土日を除く祝日の翌日、年末年始を休館日とする。入館料については無料で、企画展等については有料とできるよう条例、規則で定める。

(水島委員長職務代行者) 休憩室には小さなテーブル等も置くのか。

(堀内文化スポーツ振興課長) 休憩室にはテーブルとソファを置く予定である。カップ式の自動販売機等の設置については、現在検討中である。

(井口委員) 職員は何人配置する予定か。

(堀内文化スポーツ振興課長) 人事に関わるためはっきりしたことは申し上げられないが、学芸員が2人と嘱託またはアルバイトが3人ほどになると考える。また、市史編さんの専門員として、嘱託を2人、学芸員を1人募集している。

(井口委員) 美術館との連携はどのように考えているか。

(堀内文化スポーツ振興課長) 役割分担をしつつも、類似のテーマを扱う場合は、共催というような形で連携していきたい。

(井口委員) 収蔵品の保管についても、双方協力してうまくスペースを活用してもらいたい。

(石井委員) 計画の中に、「市内外の方が気軽に訪れることができる」とあるが、立地や交通の面から考えても、「気軽に」という言葉には、市民の目線からは違和感がある。

(堀内文化スポーツ振興課長) 設置場所は、歴史・美術の杜みゅーじあむの中心として、ベストな場所だと考えている。道が狭い、交通の便が悪いという課題については、観光部門とも協議しながら、

レンタルサイクルやジャンボタクシーの活用を検討していきたい。
また、資料館ではワークショップ等を常時開催する予定で、そう
いった活動に気軽にご参加いただき、資料館での取組が口コミで
市内外に広がっていくようにしたい。

(里見委員長) 地方創生とも大いに関係する部分である。観光協会と
も連携し、教育委員会のことだけでなく、市長部局のことも含め
て考えてほしい。

(西本教育企画部長) 歴史・美術の杜みゅーじあむは、秀吉本陣跡か
ら福井の付城跡等を含んだ大きな空間をイメージした構想が基に
なっており、そのインフォメーション施設という役割を資料館が
担う。例えば観光協会が製作しているようなパンフレットを置き、
秀吉探訪歴史コースなど、歩いて回れるコースを設定したり、交
通政策課とも連携して、将来的に巡回バスを走らせたり、あるい
はレンタルサイクルを置くということを、将来的にできたらと考
えている。こういった点を十分踏まえながら、今後取り組んでい
きたい。

(里見委員長) 年間入館者数2万人を目指すとのことだが、数字に根
拠はあるのか。

(堀内文化スポーツ振興課長) 平成26年度の美術館の入館者が約1
万6,000人であり、当初その程度の目標としていたが、まち
の賑わいを作るという意味から、金物資料館や美術館と連携し、
高い目標を設定している。

(水島委員長職務代行者) 古い倉庫等に囲まれているため、敷地の外
側からは、そこに施設があるということが分かりづらい。訪れる
人が歓迎されていると感じられるような工夫をお願いしたい。

4 報告事項

文化スポーツ振興課報告事項

○堀内文化スポーツ振興課長が次のように報告した。

大分県竹田市との歴史・文化の市民交流を行う。三木市と竹田市

は、三木合戦の後、三木城主となり、その後、大分県岡城主となった中川秀成公の縁で、歴史・文化を中心とした市民交流を行っている。昨年度は黒松訪問団を組み、三木市が竹田市を訪問した。その際に、黒松を寄贈して、植樹式を行った。今年は、三木市に訪問団をお迎えして、市内の文化財や伝統文化を視察していただきながら、両市の親交を深めたい。訪問団が来られるのは、2月12日、13日で、中川秀成公が岡城に入場されたのが2月13日ということで、この日を設定した。到着の際は、三木太鼓で歓迎する。また、中川秀成公ゆかりの文化財として、三木城本丸跡、雲龍寺、月輪寺、大宮八幡宮を見学していただく。大宮八幡宮では、鬼迫保存会による実演会を見学していただく。訪問団の宿泊先は、ホースランドパークエオの森研修センターである。13日は、天気良ければ秀吉本陣跡と竹中半兵衛の墓を見学していただき、お昼には市街に戻って旧小河家別邸で昼食をとっていただく。吉川では、山田錦の館とよかたんを訪れていただく。午後3時を目途に三木を出発いただき、伊丹空港に向かい帰路に着かれる予定である。

(非公開)

【議案第21号】三木市公立学校長及び教頭の人事異動内申について

議案第21号は、三木市教育委員会会議規則第5条第1項ただし書きの規定により、非公開として審議したため、同規則第31条の規定により、内容については記載しない。

委員長が、議案第21号について採決を行い、原案のとおり可決された。

5 閉 会

委員長が、平成28年2月三木市教育委員会臨時会の閉会を宣言した。